

		公表		事業所における自己評価総括表	
○事業所名	ハッピーテラス岐阜長森教室				
○保護者評価実施期間	令和6年10月～令和6年11月				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24世帯	(回答者数)	20世帯	
○従業者評価実施期間	令和6年11月				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月				

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高学年の子ども達のニーズに沿った支援	就労準備型放課後等サービスとして、社会に出た後を意識した日常スキルや就労生活スキルを中心にソーシャルスキルトレーニングを行っています。また、活動内容を子ども達が選び通所してくる子が多いので、子ども達のニーズを取り入れながら活動内容を決めています。	パソコンプログラミングや、料理、運動等多岐にわたる子ども達のニーズに対応しながら行っていますが、一人一人の子ども達のレベルに合わせて活動を設定することが難しくなっています。今後は、子ども自身が内在的に持つ力を発揮できるように、職員の資質向上を目指しながら、ニーズに合わせた部活動のような活動を取り入れ対応していきたいです。
2	法人内の職員の連携	マルエイグループの会社と連携して、就労体験やイベントを行い、将来働くことに意識が向くような活動をとっています。また、ご本人やご家族と面談などで得意な事等を話し合い、どんな職種に向いているのか等、夢を語りあいながら卒業後、就職したときの生活に見通しが持てるようにしています。	弊社の他部署、マルエイグループ会社の中で就労体験やイベントで交流をしている所が毎年決まっています。さらなる職種の仕事体験やイベント交流が出来るように法人内外との連携を組織的に進めるようにしていきます。
3	思春期の子ども達への配慮	中学・高校進学への不安や卒業後の進路に向けた準備期間の子ども達が多く通ってくる通所施設として、子ども達の話に傾聴する姿勢を大切にしながら関わっています。他者との関わりや学校生活での友達との関わりの中で、様々な葛藤を抱えたり悩んだりする思春期の子ども達が、自己肯定感を高める事ができる活動や言葉かけを意識して取り組んでいます。不登校や心の問題を抱えている児童に対しては、本人の気持ちに寄り添った支援と保護者や学校との連携を意識して対応しています。	思春期の子ども達の理解をさらなる深め、進路や就労に向かう姿を応援できる職員の資質向上を目指していきます。  進路や進学への不安を傾聴しながら情緒的な安定を図ると共に、思春期の友達と互いに共感しあう活動を多く取り入れ仲間との関係性を重視しながら見守っていきます。自己肯定感が高められる支援と、自己理解を深める事ができる活動を組織的に進めていきます。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の学童児童などによる交流	クリスマス会で高校生との交流や餅つき大会で地域の放課後等サービスとの交流等は交流があったが、地域学童保育児童との交流は出来ていませんでした。	来年度は地域の子どものクラブ会社社員の子どもの交流を図るようにして、地域の同年代の子どもの交流が出来る機会を設けたいです。
2	保護者交流支援	子ども達だけでなく、そのご家族にも寄り添った家庭支援を意識して取り組み、保護者会参加者の交流、親子イベントや稲刈り、餅つきなどでの保護者同士の交流を提案しています。しかし、それぞれのお子様の状況が違ふ為、進学、進路先も様々であり、中高生は保護者と参加する子が減り、子どものみの個人参加が多く見られ、保護者同士の交流が少ないのが現状です。	保護者会の回数を多くすると同時に、保護者参加型のイベントを同法人内のハッピーテラス岐阜梅林教室と連携して行い、保護者同士で情報交換できる場の提供を行ってまいります。
3	関係機関との連携	子ども一人一人の関係機関との関わりを持つ機会が少なかったのが現状です。	不登校も含めた相談機関の把握や地域資源を把握しながら、一人一人を取り巻く関係機関を詳しく把握する事に努め、積極的に連携をとって努力をしていきたいです。